



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行1月1日 No.230

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ：鳥 ホオジロ：木 イチョウ

あけまして
おめでとうございます

1989
/ 1月号

(2万人目の三股町民となった)
福田遥香ちゃん

—4ページに関係記事—

年頭のごあいさつ



町長 桑畑 三夫

あけまして
おめでとうございます

町民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
旧年中は、町政各般にわたり一方ならぬご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
お陰をもちまして、懸案でありました三股西小の建設をはじめ、在宅老人デイ・サービスセンターや宮村公営住宅の建設、第一地区公民館の改築、勝岡小プールの改造、更には道路の改良整備や農業生産基盤整備、企業誘致（首藤製糸、聖天第二工場）などの諸事業を順調に推進でき、本町が更に躍進するための確かな足がかりを築



議長 有村三千男

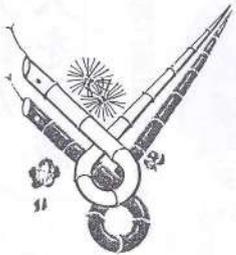
年頭にあたって

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、平素から格別の御支援、御協力をいただきしておりますことを議員一同心から感謝申し上げます。

さて、わが国の社会情勢は、二十一世紀を間近に控え人口の高齢化、情報化等が進展し、特に貿易摩擦とこれを背景とする農産物の輸入自由化要求、さらには米の市場開放問題等様々な面において大きく変貌しつつあります。

地方行政は、これらの時代の進展、変化に伴う多様な行政需要に応えるとともに「ふるさと創生」を目指し、均衡ある地域の発展を図ることが大きな課題であると考えております。

昨年は町制四十周年という節目



の年でありました。事業の実績等にすぎましては、町長のあいさつに述べてあるとおり着実に進んでいます。
今や町の人口も二万人台に突入り、県下においても市を除けば四番目の規模となっております。
これに比例して住民の要望も多岐多様にわたりますが、これらに少しでも多く応えられるよう議決機関としての使命を果たして参りたいと心新たにいたしております。
なにとぞ町民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。皆様の御多幸をお祈りいたします。年頭のあいさつといたします。

公営住宅の増設、上米公園の拡張整備、更には道路や都市下水路などの生活環境整備、生涯にわたる福祉対策、農畜産業や商工業の振興など諸事業全般にわたり、皆様のご意見・ご要望を広く拝聴しながら最善の努力をいたす所存であります。
今年もどうぞ、町勢発展のためなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
最後に、この新しい年が皆様にとりまして最良の年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



4月の開校に向けて工事の進む三股西小



町立病院長 阿部 昭司

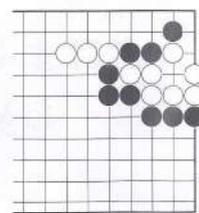
新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。三股町国民健康保険病院も、お陰様でなんとか越年することができました。これも皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

本年は、当院が開院して丁度三十五周年目に当たります。この記念すべき年を踏み台として、町立病院の新生をめざしたいと考えております。
例えば、内科・外科・歯科のほかにパートで新しい科を設けたり看護科の充実を図ったりしたいと考えております。これらにより、職員・職員の活性化を促すこともなり、住民のニーズに応えることにもなるのではないかと思います。

現在、当院の隣接地に在宅老人デイ・サービスセンターが建設中でありますが、変調を来した人

チヨット頭をひねって みませんか

出題 本因坊 武宮正樹
白先勝・7手まで
●ヒント：ニウウにしないようにオキの筋を、断開。
5分で初段、3分で三段。



出題 八段 北村昌男
●ヒント：4筋5筋と玉を通過しては詰みません。
7分で2級、4分で初段。
持駒 番書



(解答は8ページ)

11月4日

三股町の人口が 二万人を突破

二万人目の町民に福田通香ちゃん

わたしたちのまち三股町は、近年、急速な勢いで人口が増加しています。去る十一月四日、待望の二万人に到達しました。



中央が通香ちゃん

二万人目の町民となったのは、植木の福田光義・より子さんの長女、通香ちゃん（昭和六十三年十月二十六日生まれ、十一月四日出生届）で、町では二万人到達を記念し、これを祝う意味で早速、通香ちゃんに証明書と記念品を贈りました。

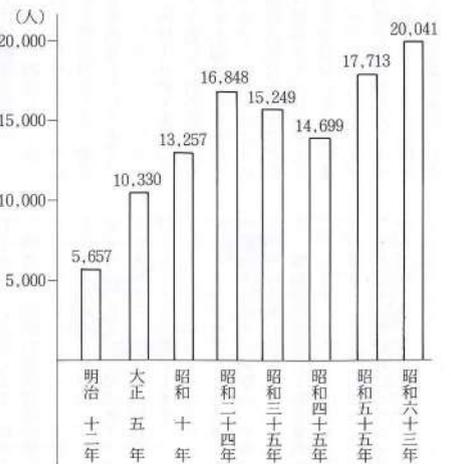
本町の人口は、大正四年に一万人を突破して以来漸次増加を続け、昭和二十四年には一六、八四八人に達しました。その後、戦後の復興が成り経済が成長するにつれて、その担い手として若年層の流出が相次ぎ、昭和四十五年には一四、六九九人にまで減少しました。企業誘致や町営住宅の建設などにより、昭和四十六年には再び増加傾向に転じ、また近年は都城市のベッドタウンとして宅地化が進

んで人口が著しく増加し、昭和六十三年中には二万人を突破するものと確実視されていました。

県内の町村で二万人を突破したのは佐土原町、高鍋町、国富町に次いで四番目で、人口二万人到達はまさに本町のめざましい躍進ぶりを象徴する出来事といえます。

本町の今後益々の発展と、幸運にも二万人目の町民となった通香ちゃんの健やかな成長を祈ります。

町人口の推移



＝町勢発展の象徴＝

ピタリ賞は豊丸照子さん

町制施行四十周年記念事業の一環として、先に実施しました「人口二万人到達クイズ」に、町内外から多数の応募をいただきました。ありがとうございました。

「人口二万人到達クイズ」の当選者を発表します

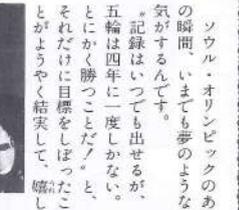
- ピタリ賞
 - ・豊丸照子 祝山
 - ニアピン賞
 - ・豊丸勇樹 山中村フ子子中
 - ・野元正直 野元 野元純 佐土新
 - ・高木義文 植木

町制施行四十周年記念事業の一環として、先に実施しました「人口二万人到達クイズ」に、町内外から多数の応募をいただきました。ありがとうございました。

十一月四日を予想した人が多数、近い日を予想した人が少数

◆新・成人に贈る言葉◆

一月十五日は成人の日。皆さんにとって、社会への第一歩となる大切な日です。その門出を祝つて、ソウル・オリンピック・背泳ぎ百メートル競泳で、金メダルに輝いた鈴木大地さんからメッセージをいただきました。鈴木



ソウル・オリンピックのあの瞬間、いまでも夢のような気がするんです。記録はいつても出せるが、五輪は四つまで出せない。とにかく勝つことだ。と、それだけに目標をしばつたことがようやく結果として、嬉しい。

「瞬発力」こそ若さの証明

ソウルオリンピック金メダリスト 鈴木 大地



一度の挫折からの再起

ぼくが水泳を始めたのは、小学二年のときでした。それまではまったくのこなづちだった。ところが、近所のスイミングスクールに通い始めたのですが、思うように泳げなくて、まるで面白くありませんでした。

一度の挫折からの再起

一度決めたことは、何があってもやりぬこうと、心を奮い立たせたのです。

成人の日を迎えられたみなさんに、ぼくが言えられたことがあります。それは、どんなときもまだ大きな目標を抱けたほうが良いということです。そして、その目標を達成するために、その過程で小さな目標をいくつかつくり、それをひとつずつ

●鈴木大地（すずき・だいち）さん略歴●
昭和42年3月10日生まれ。21歳。小学校2年から水泳を始める。中学校1年のとき、現在の鈴木陽二コーチと出会い、本格的に競泳に取り組む。高校3年のとき、ロサンゼルス・オリンピック最終選考会の100メートル背泳ぎで、日本新記録を樹立し、日

謹んで新春の御祝詞を申し上げます

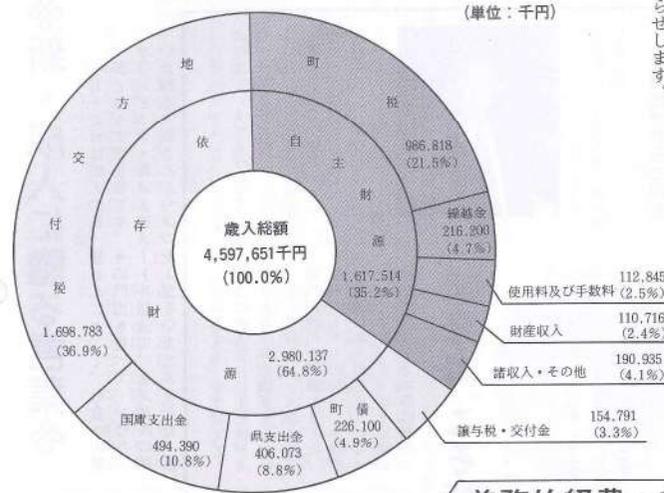
皆様のご多幸とご健勝を
心からお祈り申し上げます
1989年 1月1日

三股町議会議員一同



(順序は議席番号によるものです) この共同年賀は議員の出資により作成したものです。

自主財源と依存財源の状況

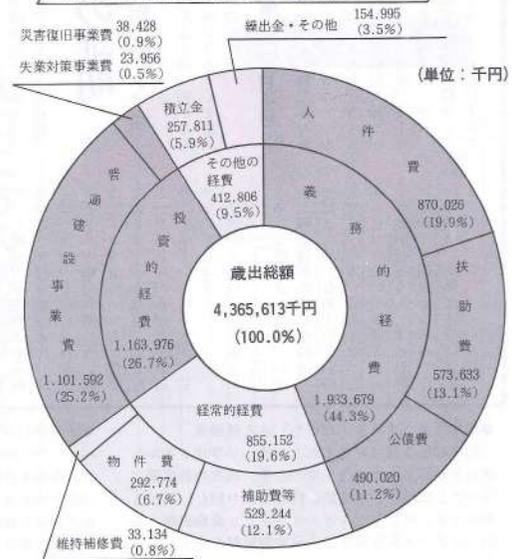


昭和六十二年年度一般会計歳入歳出決算の状況を次のようにお知らせします。

昭和六十三年十二月
議会定例会で認定

昭和六十二年年度一般会計歳入歳出決算

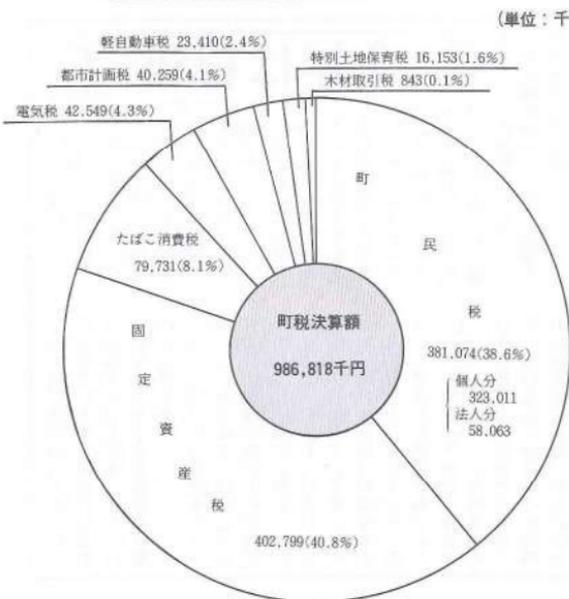
義務的経費・経常的経費 投資的経費等の状況



昭和六十二年年度三股町一般会計歳入歳出決算は、円グラフが示すように、歳入総額四、五九七、六一千円(六十一年度四、七二〇、九三九千円)、歳出総額四、三六五、六一千円(六十一年度四、五〇四、七三九千円)で、これを前年度と比較すると歳入では、額にして二・一三、二八七千円、率にして二・六〇の減少となり、歳出では、額にして一三九、一二五千円、率にして三・二〇の減少となっております。

減少の主要因として、六十一年度歳入には三股西小学校用地購入費等購入費等のための繰入金(財政調整積立金等の取り崩し)に三〇〇、〇〇〇千円が含まれていたこと、また歳出では繰上償還による公債費の減一三、八〇六千円が大きいものとなっております。構成内容を見ますと、歳入では行政活動の自主性と安定性を確保しうるかどうかの尺度となる自主財源は全体の三五・二%と低く、

町税の状況



町税収入九八六、八一八千円を町民一人当たり単純(一九、八八七人・昭和六十三年三月末)に換算すると、四九、六二二円の町税を納めた事になります。一方歳出

では、国・県からの補助金や町税、町債(借入金)などを使って町民一人当たり二一九、五二一円でいろいろな事業が行なわれました。

国からくる地方交付税や国庫支出金、県支出金など依存財源は六四・八%と高い比率を占めています。一方、歳出の性質別支出の状況では、義務的経費(人件費、扶助費、

公債費)が四四・三%、經常的経費一九・六%、投資的経費二六・七%、その他の経費九・五%の割合となっています。

昭和六十二年普通建設事業実施状況

事業名	事業費 (単位：千円)	主要事業の成果
土地改良総合整備事業	62,014	早馬下、勝岡、前田地区農道整備 L=2719.4m
団体営農道整備事業	72,574	中原、高見、樟山地区農道整備 L=3081.6m
一般廃棄物埋立処分用地購入	25,768	用地 28,373㎡
農村地域定住促進対策事業	32,084	勝岡広場施設整備、農道整備(牧野、坂下、池田)
勝岡鑿池線改良事業	27,000	改良L=140m
町単町道整備事業	116,562	前目11号線改良工事ほか26路線
新馬場榎堀線街路事業	44,000	側溝L=519m 路盤工L=177.2m
南原都市下水路事業	40,000	BOXカルバートL=285.2m
消防施設整備事業	31,187	可搬ポンプ付積載車2台、防災施設2ヶ所、防火水槽ほか
勝岡小プール建設事業	37,211	アルミプール(大プール 325㎡、補助プール 60㎡)
三股西小校舎新築(継続)	267,623	鉄筋コンクリート造2階建2棟 4,716㎡
第1地区公民館建設事業	125,077	鉄筋コンクリート造平家建 563.69㎡、用地 2869.1㎡
その他	282,876	
計	1,163,976	



今年巳年

今年 は巳年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

蛇と聞いただけで嫌悪感をもちやす人もいるようですが、それは多分にあのグロテスクな姿のせいです。脚部の退化・

消失してしまつた細長いからだから、S字型を書くようにくねくねと動く様子は、蛇独特のもので、あの細長いからだで、内臓はどうなっているのだろうか？……「心配には及びません。内臓も体に合わせて細く伸びているほか、腎臓などが本来は左右に占めるべきものが、前後に位置を占めておさまっているそうです。

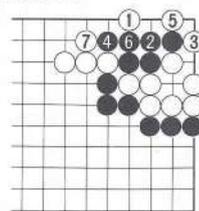
蛇 は、古来、恐れられ排斥される一方で、崇拜と畏敬の対象でもありました。日本では、神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、昔話に多くみられます。

例えば、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。また、白い蛇を家の神とする信仰も各地にみられます。ところで、蛇は集団をつくらないといわれます。蟻などのような社会組織や集団生活の例はまったく知られていないということです。いつも「ひとり」で孤独な生活を送っています。そのため、異性と出会う機会がたいへん困難だということですね。ちょっとさびしい話ですね。

例え、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。また、白い蛇を家の神とする信仰も各地にみられます。ところで、蛇は集団をつくらないといわれます。蟻などのような社会組織や集団生活の例はまったく知られていないということです。いつも「ひとり」で孤独な生活を送っています。そのため、異性と出会う機会がたいへん困難だということですね。ちょっとさびしい話ですね。

ところで、蛇は、生きて成長し続けます。発育にとまらなくて、古い皮は三か月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのを取り換えられる——脱皮です。お正月を機に今年こそは新しい試みをと、脱皮を心がけておられる方うまくいくといいですね。

〈話書正解〉



白1にオクの手筋で、以下7まで無条件で取れる。

〈詰将棋解答〉1 六飛、2 三玉、1 三飛成、3 二玉、3 三竜、同玉、3 四香、2 三玉、2 四金、1 二玉、1 三香まで11手詰め。
 〈解説〉飛車を縦横に大活躍させる楽しさを味わう作品。5手目3三竜がここにそう快です。この手で3四香と打っては左方へ玉がどんどん逃げてゆきます。

★社会参加活動★



山元勝博氏 日本PTA会長賞を受賞
 日本PTA創立四十周年記念式典が、先ほど東京で開催され、三股中PTA会長の山元勝博氏が全国協議会長賞を受けられました。氏は、これまで三股小と三股中のPTA会長を通算八年間務められるとともに、町や郡の協議会長としても活躍され、PTAの発展育成並びに教育の向上進展に多大



空カン拾いで 環境美化に一役

三股中PTAと生徒会は、十二月十一日、社会参加活動の一環として、町内全域の清掃奉仕を行いました。これは協同・友愛・奉仕の精神を培い、地域社会の一員としての自覚を高めようとしたもので、生徒と父母約九百名が参加しました。

清掃は午前九時から一時間、地区毎に行われましたが、道路の至る処に空きカンや紙くず、ビニール袋などが散乱しており、参加者は改めて環境美化の大切さを認識していました。



「子供と本」

大鷲 月野 恵子

私は、今まで子供たちに「本」を読みなさい。なんて言ったこととはないと思います。

ただ、一番上の子供が小さい頃二人で居る時間が多かったために、よく童話を読んでやったり、知っている昔話を語り聞かせているうちに、自然に本好きになったように思います。

最初のうちは、私が適当に本を選んで読んでやっていただけのそのうち自分で持つて来るようになり、「これ読んで」と同じ本を何回も差し出すのです。もういいんじゃないかなあなんて思ったりもしましたが、子供が今聞きたがりており興味を持っているかと思えば、私も多少自分の時間を削いででも読み聞かせを続けて来ました。そのうちに、私自身も読んでやるのが全く苦にならなくなり、子供と一緒に童話や絵本の世界を楽しむようになりました。

また、五分でも十分でも一緒に読んだと思えば親子のスキンシップになり、と同時に子供が本によってこんなに楽しんでいるように思っています。

アップになり、と同時に子供が本によってこんなに楽しんでいるように思っています。嬉しいことはありません。幸い、上の子はその甲斐あってよく本を手にしていてくれます。また、そんな姉の姿を見て下の妹も近頃は一緒に本を読んでいます。もう一人一番下の長男もそんな姉妹の影響を受けて自然に本好きになってくれたらなあと思っています。

現在、この三人の子供たちを連れて毎週土曜日の午後から町の図書館に通っています。自分で本を自由に選べて、一冊でもいいからお気に入りの本に出会わせてやりたいと思っています。子供たちも土曜日の午後から楽しみにしているようです。何かの都合で行かれない日は、「エー！どうして！」とだだをこねることがあります。

図書館を通して子供たちに本のすばらしさ・楽しさを自然に伝えることができたらいなあと思っています。

※月野さんのお宅は、ご主人・長女(小2)・次女(小4)・長男(小3)の五人家族です。読書の癖は幼児時代から、ご主人の協力もあって親子同僚でお出でになり、昭和六十二年度は二十八回来館されています。

新刊図書のお知らせ

町立図書館では、次の図書を入手しました。ぜひ、ご利用ください。

書名	著者名	著者名
宮崎県風土記	野口逸三郎	野口逸三郎
ちくま文学の森(悪いやつ)の物語	安野 光雅	安野 光雅
④賭けと人生	安野 光雅	安野 光雅
ビジュアルワイド新日本風土記	安野 光雅	安野 光雅
八幡木集	市川 健夫	市川 健夫
ビジュアルワイド新日本風土記	市川 健夫	市川 健夫
七石石川集	市川 健夫	市川 健夫
ビジュアルワイド新日本風土記	市川 健夫	市川 健夫
三十三岡山集	市川 健夫	市川 健夫
「文藝春秋」にみる昭和史	市川 健夫	市川 健夫
ここに母あり	北野 春	北野 春
二人阿国	皆川 博子	皆川 博子
たそがれ清兵衛	藤沢 周平	藤沢 周平
日本歴史文学館十五密謀市塵	藤沢 周平	藤沢 周平
真理のおしゃれタイム	芳村 真理	芳村 真理
キルプの軍団	大江健三郎	大江健三郎
おちゃめなふた(こ) エド・ライオン	エド・ライオン	エド・ライオン
おちゃめなふた(こ)のひみつ	エド・ライオン	エド・ライオン
おちゃめなふた(こ)の探偵ノート	エド・ライオン	エド・ライオン
ポプラ社の小さな童話おおかみ	木村 裕一	木村 裕一
ポプラ社の小さな童話どうぶつニュースのじかん	木村 裕一	木村 裕一
ポプラ社の小さな童話おやつがやってきた	木村 裕一	木村 裕一
ポプラ社の小さな童話やまねこのうみ	舟崎 克彦	舟崎 克彦
ポプラ社の小さな童話そらとぶめ	舟崎 克彦	舟崎 克彦
ポプラ社の小さな童話おぼけ大会	舟崎 克彦	舟崎 克彦
ポプラ社の小さな童話くんくんもりはおやつのおい	鈴木 悦夫	鈴木 悦夫
ポプラ社の小さな童話そらとぶめ	鈴木 悦夫	鈴木 悦夫
ポプラ社の小さな童話おぼけ大会	鈴木 悦夫	鈴木 悦夫
ポプラ社の小さな童話くんくんもりはおやつのおい	鈴木 悦夫	鈴木 悦夫





宮村に試験農場を開設

雪印種苗(株)

雪印種苗株式会社(本社北海道)は、西南暖地における牧草、飼料作物などの研究開発に本格的に取り組むため、このほど本町宮村に宮崎試験農場を開設しました。

同農場は、千葉試験農場の試験地として昭和五十七年に開設されましたが、今回、南九州営業所の開設に合わせて規模が拡大され、試験農場に昇格したものです。

現在、約五ヘクタールの農場にトモロシやイタリアンライグラス、ソルガムなどが栽培されており、今後の研究開発を通じて南九州の農業振興が図られるものと期待されています。

グランドゴルフ大会を開催

—交通安全7地区会—

高齢者の交通安全意識を高めようと、交通安全7地区会(委員長桑畑古佐)が主催するグランドゴルフ大会が、先ほど新馬場公園で開催されました。

この競技は、各ホールごとに横断歩道や一時停止、追越禁止などの交通標識が設けられ、違反すると打数に反則点が追加されることになっています。

参加した約八十名の高齢者は、いつもと勝手が違うルールに少々とまどいながらも、和気あいあいのうちに競技を楽しんでいました。上位入賞者は次のとおり

優勝 山下沖ツネ 二位 佐原シツエ 三位 伊藤善雄



雪印種苗株式会社(本社北海道)



森木農産加工グループ

清流園を慰問

梶山棒踊り同好会

お年寄りを慰めようと、先ほど梶山棒踊り同好会(会長 岡田安男)の一行十二名が、老人ホーム清流園を訪れました。

当同好会は、昭和六十二年三月に結成されたもので、棒踊りは財部正清嗣さんが指導。会員は会長以外は全員が女性ですが、郷土の芸能を伝承しようと、仕事や家事の合間に練習を積み重ねているものです。

当日は、紋付・袴姿で棒踊りを踊った後、各種の舞踊も披露し、



お年寄りは楽しいひとときを過ごしました。

ふるさとの味

を都会へ

(ふるさと農協便)

ふるさとを遠く離れて生活している人たちに、懐かしいふるさとの味と香りを届けようと、森木農産加工グループ(森木ムツ他八名)は、このほど味噌三百キログラムとゆべし三千個を作りました。

これは、年末に「ふるさと農協便」で都会に送られるもの。

作業は集落センターで、老人クラブ婦人部や大野の人も協力して行われ、真心のこもった製品ができあがりました。

長田小のふれあい教室

児童と高齢者が
「わらじづくり」

長田小は去る十一月十五日、ふれあい教室を開き、児童と高齢者が一緒に「わらじづくり」を行いました。

当日は、森木の高齢者約二十名が学校を訪れ、授業を参観した後、



金賞に坂元由貴ちゃん(4歳)

など6名

—交通安全絵画展—

交通安全意識を高めようと、町はこのほど、児童の交通安全絵画展を役場ロビーで開きました。

絵画展には、各児童館を通じて八十二点の応募があり、審査の結果、金賞に六名、銀賞に七名が選ばれました。

入選者は次のとおり

◎金賞
坂元由紀(坂元 四郎 山崎美子 藤岡小一 中山征一郎 三股小三 藤田まゆり 三股小三 矢野智恵(三股小四) 中原寿歌(三股小四) ◎銀賞
神宮あづ子(山王原 五徳 大藤幸行) 三股小三 平塚まり(宮村小三) 大久保智子(山小三) 山元めぐみ(三股小三) 菅村和香(藤岡小三) 川越幸穂(長田小五年)



一年生から六年生までの全児童にわらじづくりを手ほどきし、ふれあいを深めました。

金婚式で 十七組を表彰

金婚式を迎えられたご夫婦をお祝いする表彰式が、十二月二十日、老人福祉センターで開かれました。

式には、昭和十三年に結婚されたご夫婦十七組が出席。それぞれ慶祝状と記念品が贈られた後、社会福祉協議会長の桑畑町長が「結婚五十周年おめでとうございます。これからも仲良く元気で、夫婦そろって長生きしてください」と祝辞を述べました。



その後、昼食会や踊りなどがあり、ご夫婦は楽しい一日を過ごしました。

蓼池一班が優勝

公害のない明るい畜産経営をめざそうと、養豚経営農家を対象とした環境衛生共助会が、七月と十月の二回にわたって開かれました。

これは近年、畜産公害に対する苦情が相次いでいるため、飼育環境を改善して環境汚染を防止しようとしたもの。

町内の養豚経営農家九十五戸を地域別に七ブロックに分けて巡回し、審査した結果、飼育環境の改善が著しかった蓼池一班が第一位に選ばれました。



記帳に基づく
正しい申告を

商売などをしていての方が、自分の所得を正確に計算するためには、毎日の取引をきちんと記帳し、保存しておくことが必要です。

また、毎日の取引を正確に記帳しておけば、経営内容も正確に把握でき、事業の発展に役立てることもできます。

記帳にも簡単なものから、各種の帳簿を備えた高度なものまでいろいろありますが、定められた簡易帳簿など一定水準以上の記帳を

し、その記帳に基づいて正しい申告をする場合には、所得の計算上有利な取扱いが受けられる青色申告の制度が設けられています。現在では、商売などをしていての方の半数以上が、この青色申告制度を利用しています。

記帳の仕方などが分からないときは税務署にお気軽にお尋ねください。また、青色申告会や商工会、税理士会などでも記帳の指導をしています。

都城税務署(☎三二一四三七七)

今月の納税
県町民税4期
保険税5期

税金は滞納しないよう
早めに納入しましょう

タコあげは電線の
ない広〜いところで

もし、タコが電線に引っかかったら、自分で取るのは危険です。すぐ九州電力へご連絡ください。
☎三二一三九一一

自衛官募集

自衛官を募集しています。詳しいことは、自衛隊宮崎地方連絡部都城募集事務所にお問い合わせください。(☎三二一三九四四)

愛の
献血

次のとおり献血にご協力いただきました。誠にありがとうございます。

- 〇十二月五日
都城運輸免許センター 一八十名
都城農協三股支所
- 〇十二月十二日
役場(来庁者を含む) 八十七名

今後とも皆様のあたたかい協力によるしくをお願いします。

愛の「寄付」

三股町社会福祉協議会では、説明寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

- 昭和六十三年十一月一日から
昭和六十三年十一月三十日まで
- | | | | | |
|-----|--------|------|----|-----|
| 寄付者 | 続柄 | 故人名 | 地区 | 金額 |
| 早田 | チエ夫 | 美藤喜切 | 寄 | 三万円 |
| 田代 | 勝(義母) | 桑畑ワカ | 寺 | 五万円 |
| 福田 | 照(母) | ミネ上 | 米 | 五万円 |
| 丸山 | フヂ子(夫) | 春雄 | 寺 | 十万円 |
| 尾尾 | 善(夫) | 福正 | 下 | 五万円 |

三股町の人口

昭和63年12月1日現在

人口	20,041人	出生	28人
男	9,489人	死亡	9人
女	10,552人	転入	126人
		転出	72人
世帯数	6,504戸		
前月比	+73人		

- ※お問い合わせは、三股町教育委員会社会教育課(☎三二二二二)へ
- | | | | |
|----------|-----|----|-----|
| 北村トコ(夫) | 重行 | 夢池 | 三万円 |
| 川添忠(母) | エミ | 下新 | 三万円 |
| 下石幸男(父) | 静夫 | 谷 | 二万円 |
| 上村久子(夫) | 幸子 | 小 | 二万円 |
| 大盛貞夫(義母) | 東 | 中 | 二万円 |
| 深江サカ(夫) | 喜郎 | 谷 | 二万円 |
| 大童(妻父) | 源太郎 | 山 | 二万円 |
| 松山安美(妻) | ソトエ | 仲 | 三万円 |
| 金丸国平(母) | ヤス | 飯 | 二万円 |

ミュージカル
「さらば鯛の目ん玉」
が上演されます

日時 二月六日(月)午後七時
場所 都城市民会館

◎出演 渋谷哲平、岡谷幸子
新井康弘、塩賀高男他

このミュージカルは、全国各地で頑張っている青年団一わが街を語り、愛を歌い、夢を運び、そんな活動を少しでも皆さんに伝えたいというところからつくられたものです。